

# Ja-Net

シネット



第2号

Ja-NetはJapanese Networkの略です。  
「にほんご」を通して親睦と協力の輪を広げ  
情報誌にしたいと考えています。

1997年7月発行

スリーエーネットワーク  
〒101 東京都千代田区千代田2-8-3 若原ビル  
TEL 03-3262-6715 FAX 03-3262-6714  
E-mail: info@threea-net.com

## 巻頭特集

## チューターと連携した日本語教育の試み

梅雨入りまもない6月中旬、日本大学の交換留学生の日本語クラスを訪問した。場所は東京・市ヶ谷の日大会館。現在、夏期集中日本語プログラムが行われている。期間は6月2日の来日から7月30日までの2か月、韓国ソウルの慶熙大学からの留学生8名と職員1名の計9名が学んでいる。このクラスではチューターが参加して国際交流と日本語学習の一翼を担っているという。実際にどのようなクラスなのか担当の福田知行先生に紹介していただいた。



## 日本大学のチューター制度について

日本大学講師 福田知行



現在、日大交換留学生クラス（学生は6～9名で期間は2～4か月）ではほぼ学生と同数のチューターを教室に入れ、授業を行っています。この制度の導入は筆者が地域の日本語ボランティア活動の中で得た以下のような認識がきっかけとなっています。

1、学習者は自律的な一人の人間である。

2、教師ができることには限界がある。

つまり、学習者は単に「教えられる存在」ではなく、興味や必要があれば自律学習できる、感情を持った「人間」なのだから、教師は日本語や日本事情などを「教える」のではなく、多様な情報にアクセスするための「リソース」でなければならないと考えようになったのです。そのためには、1対1あるいは少人数グループによる人間関係の構築、そこから広がる様々なネットワークというものを考えま

した。

具体的には、初級クラスでは教師が最低限必要な文法事項を説明し、あとはチューターに任せます。何か問題があれば教師が手助けに行きます。中・上級クラスでは、最初からチューターとの会話をしてもらいます。必要ならば作文を書いてきてもらってその内容をテーマにして会話をします。ここでも教師は補助的な役割に徹します。

この制度の一番いい点は、学習者が自律的に活動でき、人間関係を通して学習を楽しみながら効果的に学習できることです。また、学習者だけでなくチューター側も様々な経験や学習ができます。問題点としては、お互いの趣味や考え方が異なる場合や慣れてしまった場合に自由会話だけでは行き詰まること、教室内での教師のイニシアチブの取り方、またチューターに任せただけの場合、日本語に関する知識不足や誤解・間違いによる学習者側の不信感、それを念頭に置いたチューターの募集と選抜・養成、などがあります。

## 実際にチューターを体験してみると

取材で授業に参加したのだが、とにかくにぎやかなひと言であった。訪問したクラスは中・上級なので講義形式の日本語文法、作文・読解などに充てる時間は少なく、テキストなども用意していない。午前は授業開始から学習者とチューターがマンツーマンで自由会話。希望者は午後も会話をを楽しむ。これが月曜日から金曜日まで2か月続く。

参加している韓国人学生に話を聞くと「スーパーやコンビニに行っても日本語を話さないし、せっかく日本に来てても日本人と接する機会は意外と少ない。だから、この教室で会話をする時間はとても実力がつく」と喜んでいる。

実際、交換留学生は大学が用意した寮に入る場合が多く、



福田先生を囲んで記念撮影

教室と寮の往復だけになりかねない。日本人と自然な会話ができるこのクラスは彼等にとって貴重な場所であると思えた。

## まず学習者、次にチューター、教師はあくまでも脇役に徹する

一方、チューターとして登録している日本人は現在15名、学習者と数のバランスがとれるよう授業に参加する日を福田先生が調整している。

チューターの中にはボランティアグループで日本語を教えている人や、養成講座を受講して日本語教育の予備知識が豊富な人もいる。チューターの1人はこのクラスについて「語学の勉強にマニュアルはない。教科書に頼らない違った教え方として大いに参考になる」という。また、「よけいなことをせず、普通の日本人を知ってもらえばそれでいいのでは。それに何より色々な国の学生と接することができ参加するだけで楽しい」とう意見もあった。

福田先生のクラスは、とにかく明るい。「いかにして教えるか」「どうやって学ぶか」という堅苦しさが無い。長く続ける秘訣はみんなで楽しむこと、これが福田先生の基本方針のようである。

(編集室 須賀)



日本に住んでいる外国人の友達にトムというアメリカ人がいます。彼は三か月日本語を勉強しても、まだ会話が苦手です。最近、彼は「一生懸命日本語を話そう」と決めました。

土曜日、友人の家に行ったらたくさん日本人がいたので「よし！ 頑張ろう！」と思い、日本人のグループに近づいて自己紹介しました。すると「わ！ 日本語が凄く上手！」と隣の女性が言いました。この言葉でちょっと自信が湧いたのですが、彼女は急に凄くスピードでしゃべり始めました。「分からない！ 分からない！ 早過ぎる」とパニックをおこしてしまいました。まわりの人たちは急に静かになって彼をじっと見ていました。「(彼女は私に)何か聞きたいんだ！ でも何を？」と思いつつもあまいに笑いながら「ええと、ええと、そうです」と答えると、彼女は変な顔をしました。一人の人が「She asked you what your occupation is.」と言って助けてくれました。トムは顔が赤くなって「仕事という言葉が聞けなかったんだ」と思いました。とにかく、恥ずかしい思いをしたくなかったので、英語で話しました。

この経験をしてから、自信がなくなりましたが、彼は頑張って日本語で話すように努力しました。不幸なことに、すぐ彼は他の問題にぶちあたってしまいました。それは英会話を練習したい日

本人です。ある日本人は外国人と見ると「やっと英会話の練習が出来る！」と考えています。

ある日、日本人に「はじめまして、トムと申しますが、よろしくお願いします」と言ったら、「How do you do. I'm Tanaka.」という返事が返ってきました。トムはちょっと混乱しましたが、続けて「お仕事は何ですか？」と聞くと「I work for an insurance company.」と言われました。「Why do you keep speaking to me in English?」とトムが聞くと、「I need to practice.」と田中さんは答えました。「私は日本語を練習しなければなりません」とトムが言うと、田中さんは「日本に住んでいるんだからたくさんチャンスはあるはずでしょう？」と本気にしていないようでした。トムは「本当かな」と思いましたが諦めて英語で話しました。



でも幸いなことに、時々、トムは英語が嫌いな人や出来ない人にも会います。この間、道でおばあさんに「すみません。郵便局はどこですか？」と聞きました。おばあさんは不安な顔で「英語は分かりません」と答えて急いで歩き始めました。彼はおばあさんを追いかけて、もう一回はっきり「郵便局はどこですか？」と言いました。すると彼女は凄く怖い顔で「英語は分かりません！」と答えて逃げていってしまいました。

次の日、トムが日本語の学校へ行くと、先生が「トムさん、会話の練習をしなければなりません」と言いました。トムはいらいらしましたが、急にいいアイデアを思いつきました。日本語を勉強している外国人を集めて日本語で話すためのグループを作るのです。みんな日本語の会話をしたい人ばかりだし、日本語のレベルはだいたい同じだからです。

N・ジェームス

Ja - Net 編集員。滞日8年のイギリス人。AETで来日し秋田県に赴任。その後、東京で就職し日本の生活を楽んでいる。

異文化を持つ人々と市民の豊かな交流を活動の目的とするボランティア団体「I C A S 国際都市仙台を支える市民の会」が6月12日、創立10周年を迎え、記念誌「I C A S 10年の歩み」を発行しました。この記念誌が、私たちボランティアの歩んできた10年の証しにもなり、また今後の活動の方向を見定めるのに役立つものであることを願い、活動のあらましを正確に、そして客観的に記録に残すことを編集方針といたしました。

この本の中心となる「I C A S この10年」の章で、I C A S 誕生前夜から今日までの道のり、日本語教育及び文化交流活動の内容を詳細に取り上げ、私たちの国際交流活動の全容がまとめられております。地方における国際交流のボランティア団体の歩みを知る上で貴重な資料となるのではないのでしょうか。



外国人に着物を着付けする交流部員

また、10周年記念事業として実施したシンポジウム（昨年9月於仙台）「共生への模索」や韓国を訪問（昨年11月）しての「修了生との懇談会」等を記事として取り上げました。乳幼児をもつ在日外国人の日本語学習の問題点をさぐるシンポジウムは、国立国語研究所の石井恵理子氏の基調講演に始まり、在仙の日本語教師ボランティア、保育所関係者、外国人学習者等によるパネルディスカッションが行われ、今後の国際交流活動のあり方に大きな課題が提起されました。これを機に本年9月27日に同じテーマの研修会が国立国語研究所との共催により、東京・虎ノ門の国立教育会館で開催されることになりました。

韓国訪問に関しては、日本語講座を修了して帰国された方々をソウルに訪ねて

の懇談会の内容が収録されております。I C A S のボランティア活動の精神が、修了生の方々の心に深く印象づけられていることを、この懇談を通して知ることができました。また、韓国の方々に多くの励ましをいただいたことは、10周年を迎えた私たちにとって何よりの嬉しい贈り物でした。



以上、記念誌の内容を一部紹介させて頂きましたが、I C A S の活動の様子が少しでもおわかり頂けたら幸いです。日本語をコミュニケーションの手段とする交流活動をしている他ボランティアグループの方々にも是非お読みいただいて、ご意見をいただけましたら嬉しい限りです。

なお、この本は非売品ですが、ご希望の方には実費でお付けしたいと思います。  
連絡先 佐藤由利子 tel 022 - 279 - 1523

## 宮城県仙台市

国内編

あちこち  
日本語  
ご紹介

海外編

## 韓国ソウル市

ソウルの繁華街では、至る所に「何々学院」という看板が目立つ。A英語学院、B外国語学院…。これらは、ご存じの方も多だろうが、大学ではなく、民間経営の語学学校、塾などである。因みに、小社系列の日本語学校も「時事日本語学院」という。

さて、これらの学院の中を覗いて見ると、英語と一緒に所では、2、3年前から日本語教室の数がグンと減ってきている。日本語の学習者が世界で一番多い、と言われる我が国でも、国際化の波にノリノリになっているエイゴの威力には歯が立たない。なお、受講者数の最も多い初級のクラスだけを設けている所がほとんどなの

## アイカス 記念誌『I C A S 10年の歩み』

I C A S 国際都市仙台を支える市民の会

I C A S = International Citizens' Association of Sendai

## 韓国「日本語クラス」事情

韓国 時事日本語社編集部長 宋美恵

で、中級以後へ進もうとする人は、その時点で町へ追い出されてしまう。それに比べると、小社の学院は日本語だけを扱い、初級から上級までの細かなクラス分けをしているので、多様なニーズに応え、何とか現状を維持しているようだ。

学院のカリキュラムは、どこでも、初級 - 中級 - 上級と進むのが一般的コースになっている。上級以後は、各種の試験対策クラスや無制限級とも言える、上級読解や会話のクラスが待ち構えている。でも、感心してしまうのは、授業時間である。

例えば、言葉は同じ初級といっても、日本は約200から300時間、韓国のそれはたったの40から60時間程度。だから、教師は大急ぎで学習者に文法を詰め込まなければならないし、日本語の運用力を付けさせようなんて、考えない方が楽である。質を問題にしなければ、一見効率の良いやりかたのようにも見える。また、韓国人教師は、初級であれ中級であれ、文法解説の載っているテキストは忌み嫌う（大学でも、ハングルの説明などがあるテキストは、絶対使わない所が多い）傾向がある。解説が授業の運びを

邪魔し、学習者が目で読んだだけで内容を理解したつもりになるので困る、などが理由に上がる。これも一理はあると思う。でも、ある程度読み書きができて聞けない話せない日本語学習者を前にすると、教師と授業の新たな在り方を考えざるを得ない。こんなマーケットの理屈を十分承知で、小社は「S F J」や「日本語中級 J 301」などの韓国版出版に踏み切った。これは、日本語を教えるのでは



なく日本語の文法を教えている、現状への問い掛けでもあり、教育の質を悩む教師への密かな応援歌でもある。

宋美恵 (SONG MI - HYE)  
ソウル生まれ  
1990年 東京外国語大学日本語学科卒業

「日本語中級 J 301」教科書セミナー  
8月29日（釜山）30日（ソウル）  
著者によるセミナーを予定しています。

# アイデアの宝船

★今日のテーマ★  
会話・練習Cイラストシート

こんなにあっだ！  
教材の使い方あれこれ

その2

「しんにほんごのきそ」シリーズの教材のいろいろな使い方を紹介します。

石塚京子

「しんにほんごのきそ」の本冊を構成する練習Cが、運用力を強化するための練習であることはわかっているが、その練習だけで十分な運用力をつけることができるのだろうか？とされている方が多いのではないのでしょうか。

練習Cを練習のための練習に終わらせては何も意味がありません。練習の場面・状況を、学習者の生活の中にどう取り入れることができるのか・・・これが、教える側の大きな課題だと思います。この課題に対し、現在、場面を応用した会話練習を試みています。今回は、練習Cの後の応用練習の例をとりあげてみました。

また、スペースの関係で「会話」のシートの活用についてはご紹介できませんでしたが、練習Cと同じように場面を把握させることによって、会話力の養成、応用会話へと発展させることができると思います。

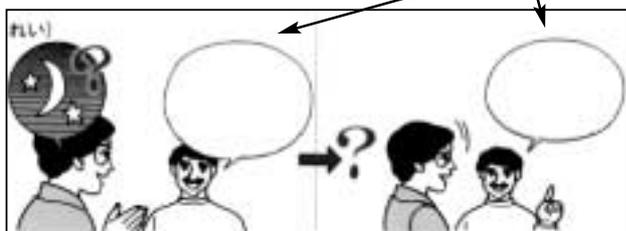


## 1. 場面を応用した会話練習（ 、 のいずれかをタスクとして与える）

### 自由会話を作る

例 第6課 練習C-1

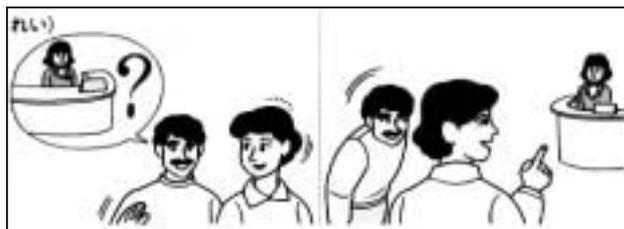
吹き出しを空白にしたものを用意し、ここに実生活に合った答えを入れさせる。



A : きのうの晩何をしましたか。  
B : \_\_\_\_\_ました。  
A : そうですね。それから何をしましたか。  
B : \_\_\_\_\_ました。

### モデル会話文の演技をさせる

A : ちょっとすみません。  
受付はどこですか。  
B : あそこです。  
A : どうも。



\*呼び掛けの場面（Bが後ろ向き、すれ違い様など）の設定ができているか確認

\*「あそこ」という手の動作をつけて

例 第3課 練習C-1

## 2. 会話を発展させる練習

### 続きの会話を作る

- A : あした、暇だったら、どこか行きませんか。  
 B : ええ、どこがいいですか。  
 A : 東京タワー - はどうですか。  
 B : いいですね。じゃ、どこで会いましょうか。  
 A : 新宿駅はどうですか。  
 B : いいですよ。何時に会いましょうか。  
 A : 10時はどうですか。  
 B : いいですよ。  
 じゃ、あした、新宿駅で、10時に会いましょう。

新しく作った会話

### 作った会話の報告

いま作った会話（二人の約束）の報告をする。

私たちは、あした、10時に新宿駅で会ってから、東京タワー - へ行きます。



+



どこ

何時

\* 絵教材、フラッシュカードなどを用意し、続きの会話のヒントを与える

例 第25課 練習C-1

## 3. 1 と 2 の組み合わせ（演技+続きの会話）

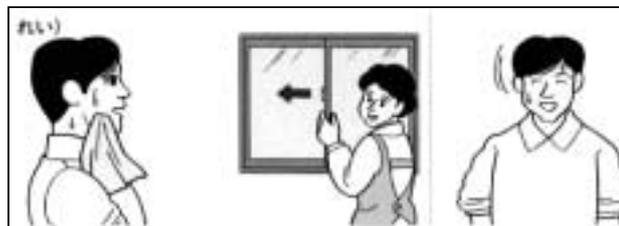
### 続きの会話を作る

- A : 暑くなりましたね。  
 B : そうですね。窓を開けましょうか。  
 A : ええ、お願いします。  
 A : ありがとうございます。  
 B : いいえ。

新しく作った会話

### 動作をつけての練習（演技をさせる）

- A : 暑くなりましたね。（汗をふく）  
 B : そうですね。窓を開けましょうか。（窓を指しながら）  
 A : ええ、お願いします。  
 B : （実際に窓を開ける動作）  
 A : ありがとうございます。（Bに対するお礼）  
 B : いいえ。



例 第19課 練習C-2

### 今回ご紹介した教材

「会話・練習C イラストシート」新日本語の基礎I 準進  
 A4版 2色刷 100枚（会話 25枚 練習C 75枚）  
 定価（本体9,700円+税）

●このコラムで取り上げてほしい教材、ご意見、ご自分でしている工夫などありましたら、ぜひ全国店報購までお寄せ下さい。

# 挑戦！ 初級で作文

第2回

□ 海外技術者研修協会 門脇 薫  
(大阪外国語大学大学院)  
□ 神戸YMCA学院専門学校 西馬 薫  
(大阪外国語大学大学院)



初級の作文指導で、文章構成について教えるなんて難しいと思っ  
ていませんか。ここに紹介する作文ワークブックは、初級の学習者に  
文章構成のパターンをフローチャート及びモデル文によ  
って理解させることで、果と果った文章が書けるよ  
うになることを目的としています。文型は『新日本語の基礎』  
によって作られています。

## 1. 初級における談話展開を考慮した作文指導 — 学習者の作文例より —

前回（シリーズ第1回）の「1. 作文教育の現状と問題点」で、「学習者の自由作文において文を羅列しているだけで全体としてまとまりがないものが多いと見られる」ということを述べましたが、今回はその具体例を見ていき、問題点を指摘したいと思います。

従来初級における作文練習は、教室で口頭練習を行った文型を使って、あるテーマについて書かせること、つまり文型定着のための「書く」練習と考えられてきました。その結果、次の作文例のような単に文型を羅列しただけのものが多く見られます。次の作文例は、学習期間3週間、『新日本語の基礎』第15課を学習後に「家族」をテーマに書かれたものです。（註：作文例においては、構成を焦点に置いているため、原文のローマ字表記は漢字仮名まじりにしました。下線は筆者。）

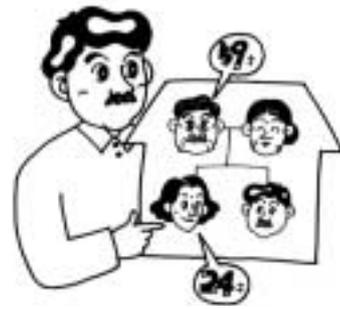
「私の家族はマレーシアに住んでいます。そして、5人います。兄弟は3人います。妹は13歳、兄は28歳です。今中国で勉強しています。私は21歳です。誕生日は10月20日です。今日本に住んでいます。専門は電子部品です。お父さんは会社員で、働いています。毎日午前8時から午後4時30分まで働いています。お母さんは働きません。家にいます。」

上に挙げた作文例は、始めは二重線部分のような家族全体についての記述があり、次に下線のように家族一人一人について紹介していますが、ただ順に羅列しているだけで中途半端に終わってしまっています。しかし、最後の部分に

再度家族全体に関する記述があれば、全体がうまくまとまるのではないのでしょうか。例えば、既存の作文教材、『絵入り日本語作文入門』（p.93）（C&P日本語教育教材研究会編 専門教育出版）に提示されている、「家族」を紹介したテーマで教師が作成した作文のモデル例を見てみます。「わたしは家族が全部で8人あります。祖父と祖母と父と母と兄が二人と姉と私です。」で始まり、最後に「私は家族が大好きです。家族はほんとうに大切だと思います。」のように、最後にテーマ全体に関連した話題で自分のコメントを加えて終わっています。つまり、「家族全体についての話題で始まり 家族一人一人を紹介し 最後に家族全体に関わるコメントで終わる」というような談話展開になっているということです。初級段階では文の正確さが重視されるあまり、このような談話の展開については学習者も意識しておらず、教師側も学習者の作文例のような文型の羅列で不十分さを感じながらも、それでよしとしているのではないのでしょうか。そこで、初級学習者に「全体 個別 全体」という展開をフローチャート、及びモデル文でわかりやすく提示して、学習者に談話構成について意識させるためにこのような教材を作成しました。

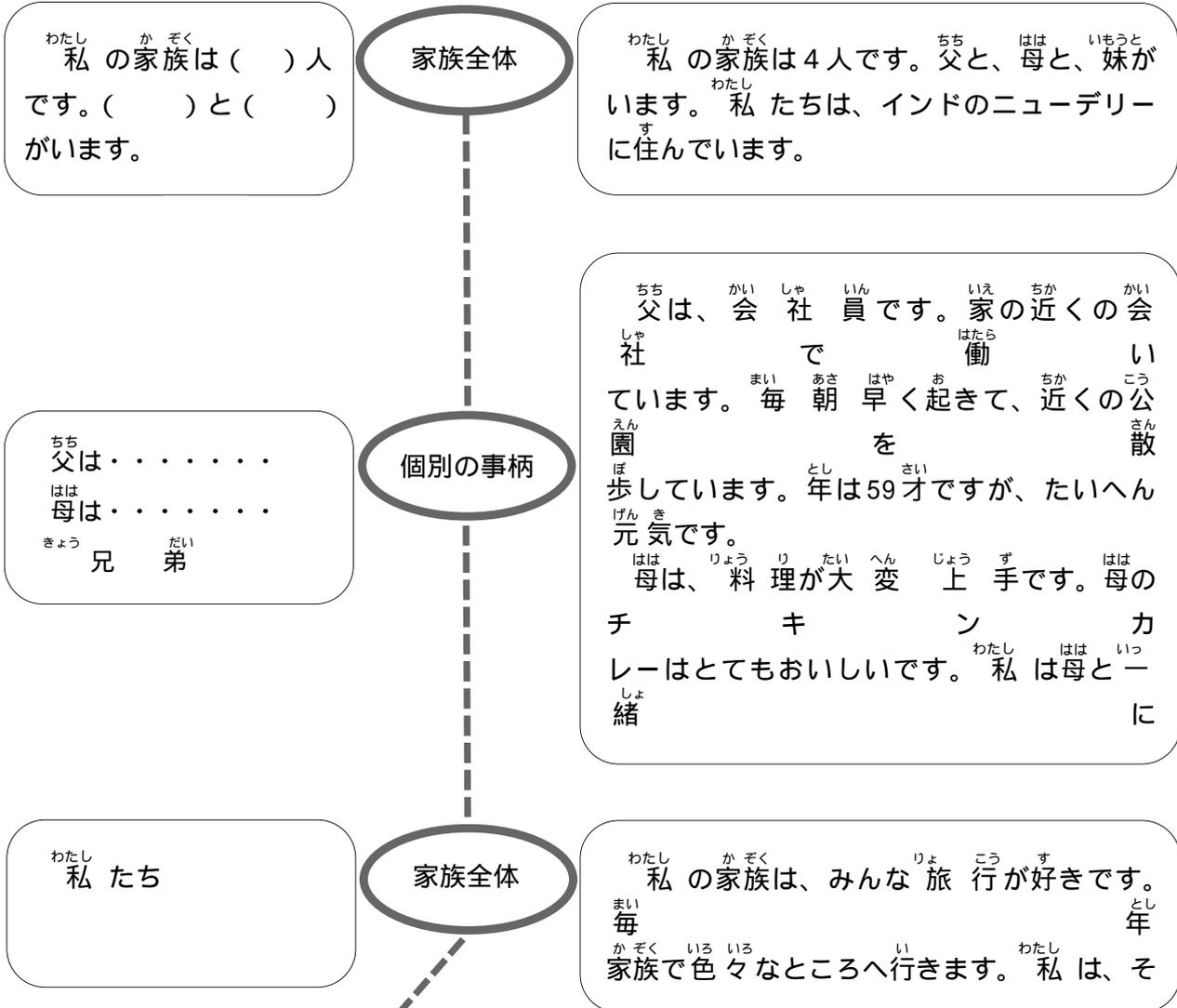
この作文ワークブックではいくつかのテーマについて、「全体 個別 全体」という展開をフローチャートで示していますが、今回は「家族」の例を紹介します。

## 2. 作文教材例.....家族



### フローチャート

### モデル文



このパターンを理解させることをねらっています。

\* 「～を楽しみにしています」というフレーズで定着をはかってください。文法的な説明は特に必要ありません。意味理解のレベルのみで、作文を書く際に応用できなくてもかまいません。

この作文教材をモニターとして使ってみませんか。毎月発行のアンケートにお手紙をいただける団体(日本語学校、ボランティア等)の方、企業や団体様までご連絡ください。また、この教材に関するご意見・ご感想もお待ちしております。



## ほん BOOK

ついに、テープ、できる

### はじめのいっぽ カセットテープ (C - 20)

谷口すみ子・萬浪絵理・稲子あゆみ・  
萩原弘毅 編著

カセットテープ 定価 (952円+税)  
テキスト (英語版) 定価 (2,233円+税)  
コミュニケーションを円滑に進めるテクニクがよくわかると好評のテキストにカセットテープができました。テキストのDialoguesをすべてそのまま収録。テープを聴きながらテキストの学習を進めれば、ふだん日本語の音声に接する機会のない方でも十分な学習効果が得られます。

韓国語版と中国語版がいよいよ完成

### 日本語中級 J301 - 基礎から中級へ -

土岐哲・関正昭・平高史也・新内康子・  
鶴尾能子 共著

韓国語版 定価 (2,330円+税)

中国語版 定価 (2,330円+税)

英語語版 定価 (2,330円+税)

教師用マニュアル 定価 (3,301円+税)  
CD (C - 74) 定価 (2,913円+税)

初級300時間の学習を終了した人のための、中級の段階への橋渡しとなる教科書。本文を読む前に既存の知識を活性化させたり、文章の型をとらえさせたりして、読み書きの基礎的な力を養成できます。文法解説や文法・語彙の練習も豊富にとりいれています。



日本語能力試験出題基準に準拠

### 完全マスター2級 日本語能力試験文法問題対策

アジア学生文化協会  
留学生日本語コース 著  
定価 (1,200円+税)

『日本語能力試験出題基準』の「文法的な機能語の類2級」に掲げられた機能語を完全網羅。各機能語の意味、接続、例文、注意等を示した解説ページと、理解・定着を図る各種の練習問題から成る。初級終了段階から無理なく取り組めるよう、難易度を考えて提出されており知らず知らずのうちに実力が身につきます。接続も一目でわかる解説ページは中級テキストの副教材としても最適です。

日本語能力試験出題基準に準拠

### 完全マスター1級 日本語能力試験文法問題対策

植木香・植田幸子・野口和美 共著  
定価 (1,200円+税)

『日本語能力試験出題基準』の「文法的な機能語の類1級」に掲げられた機能語を完全網羅。各機能語の意味、接続、例文、注意等を示した解説と一つ一つの解説に対応した各種の練習問題で確実な定着を図り、さらに総合問題で実戦力を養うことができます。各機能語の接続が一目でわかる解説ページは学習者の理解を助けるだけでなく、指導にあたる教師の負担軽減に有効です。

### ますます充実 『しんにほんごのきそ』 シリーズ

新日本語の基礎  
分冊 ロシア語訳  
定価 (1,553円+税)

新日本語の基礎  
文法解説書 ロシア語版  
定価 (1,748円+税)

新日本語の基礎  
分冊 ベトナム語訳  
定価 (1,553円+税)

新日本語の基礎  
分冊 フランス語訳  
定価 (1,553円+税) 9月発行予定

新日本語の基礎  
文法解説書 フランス語版  
定価 (1,748円+税) 9月発行予定

## セミナー SEMINARS

### 模擬授業中心の 実践日本語教授法講座

初級日本語に最適のテキスト『新日本語の基礎』の教え方を学びませんか。豊かな経験を持つ小社専任講師有馬俊子さんが、少人数クラスで秘訣を伝授。模擬授業を中心に教え方の実際を学ぶことができます。

今回は10月開講予定です。

新日本語の基礎 皂クラス  
毎週月曜日 14時~16時 全6回

新日本語の基礎 クラス  
毎週火曜日 14時~16時 全6回  
受講料 27,000円 入学金 10,000円

講師 有馬俊子  
場所 小社教室 (水道橋または神保町より徒歩5分)

### 出張講座も承ります

セミナーのお申し込み、お問い合わせは企画広報課まで

## ニュース NEWS

### ホームページ開設

<http://www.at-m.or.jp/~3ac>

- ・ 出版案内
  - ・ オンラインでの注文の受け付け
  - ・ お便りコーナー
  - ・ 海外の取り扱い書店とのリンク
- インターネットの特性を生かしたインタラクティブなページを目指します。アクセスをお待ちしています。

### LOOK!

皆様からの「あちこち日本語ご紹介」や「View from the Other Side」への投稿、各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させていただいた方にはオリジナルテレフォンカードを差し上げます。

このニュースレターをご希望の方は、お名前、ご住所、ご所属をファックス等で企画広報課までお知らせください。毎月無料でお届けします。

Ja - Net 第3号は10月下旬発行予定です。



## Ja-Net ネット 2号

1997年7月25日発行

発行人 小川巖

発行所 (株)スリーエーネットワーク

〒101 東京都千代田区猿樂町2-6-3 松栄ビル

企画広報課 (Ja-Net 編集室) 電話 03-3292-5752 ファックス 03-3292-5754

営業課 電話 03-3292-5751 ファックス 03-3292-6195

E-mail 3ac@mail.at-m.or.jp

印刷 (株)シグマ

© 1997 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)

スリーエーネットワークという社は、アジア (Asia)、アフリカ (Africa)、ラテン・アメリカ (Latin America) のいわゆる発展途上国の多くが存在する3つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好の促進を図ろうという主旨をシンプライズしています。



この紙面は再生紙を使用しています。